

別紙7 定期積金の給付補てん金等の所得税徴収高計算書の様式及び記載要領
(第1片)

国税
取納金
整理
資金

(納付書)

平成 年度
32359

定期積金の給付補てん金等の
所得税徴収高計算書

税務署 名
税務署 番号
税務署 使用欄

① 領収済通知書

(記入例) ¥1234567890

給付補てん金等の種類
この欄は、右記の「コード表」から該当する種類のコードを選んで記入してください。

コード
1 定期積金の給付補てん金
2 定期積金の給付補てん金
3 定期積金の給付補てん金
4 定期積金の給付補てん金
5 定期積金の給付補てん金
6 定期積金の給付補てん金
7 定期積金の給付補てん金

区分
非課税支払分
課税支払分(合計)
うち 内国法人に対する支払分

住所
(所在地)
(電話番号)
氏名
(名称)
摘要

国庫金
徴収義務者
様(御中)

税務署 使用欄

納期等の区分
平成 年 月
支払分源泉所得税
及び復興特別所得税

証券受領
日使用欄

内
証券受領
証券番号
振出人
(領収日付印)

あて先

◎ 合計額の金額頭部には必ず「¥」字を枠の中に記載してください。

◎ この用紙は直接機械で処理しますので汚したり折り曲げたりしないでください。

左記の合計額を領収しました。

(第2片)

国税 収納金 資金
整理

32359

平成	年度

税 務 署 名	税 務 署 番 号
税務署	0 0 0

税務署使用欄
1 1 0

整 理 番 号

納期等の区分

平成	年	月
支払分源泉所得税 及び復興特別所得税		

証券受領
金 庫

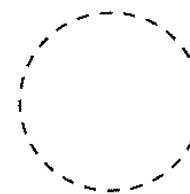
日 照 用 欄

円

本 税	
延 滞 税	
合計額	

内 証 券 受 領	円
証 券 番 号	
振 出 入	

(領 収 日 付 印)



左記の合計額を領収しました。

国庫金

住 所 (所在地)	(電話番号 - -)
氏 名 (名 称)	
様(御中)	

税金 取納金 資金

定領收証書

平成	年度

稅務署名	稅務署					
稅務署番 號	0	0	0			

税務署使用欄
| | 0

整 理 番 号							

コード	種 類
1	金
2	金
3	金
4	金
5	金
6	金
7	金

給付補てん金等の種類
この欄は、右記の「コード表」から該当する種類のコードを選んで記入してください。

利益の差益
によるの差益
に
買
差
損
益
等
の
差
益

[illegible][illegible]

納期等の区分

平成 年 月

支払分源泉所得税
及び復興特別所得税

証券受領

内証券	
-----	--

國庫金

徵 取 義 務 者	住 所 (所在地)	(電話番号)	—	—	)
	氏 名 (名 稱)				様(御中)
摘 要					

◎ 日本銀行(本店・支店・代理店・歳入代理店(郵便局を含む。))又は税務署の領収日付印が押されているかお確かめください。

(領・収 日 付 印)

左記の合計額を領収しました。

(第3片裏面)

記載のしかた

この納付書は、居住者や内国法人に支払う給付補てん金、利息、利益若しくは差益又は懸賞金付預貯金等の懸賞金等について源泉徴収をした所得税及び復興特別所得税を納付するとき使用してください。(納税の告知により納付する税金については、この用紙を使用しないでください。)

「年度」、「税務署名」、「整理番号」、「納期等の区分」及び「合計額」の各欄の記載漏れのないよう注意してください。

給付補てん金等の種類 「コード表」から該当する種類に応じたコードを選んで記載してください。	年 度 会計年度(毎年4月1日～翌年3月31日)を記載してください。	税 務 署 名 所轄の税務署名を記載してください。(税務署番号の記載は必要ありません。)	人 員 各項ごとに各月の延べ人員を記載してください。	整 理 番 号 貸殿(社)の整理番号を間違えないように記載してください。
--	---	---	---	---

国税収納資金(納付書) 32359	領収済通知書 32359	(記入例) 1234567890
--	-----------------------------------	-------------------------

その月において支払をした給付補てん金等で所得税が課されないものについて記載してください。	その月において支払をした給付補てん金等で源泉徴収をすべきものについて記載してください。	課税支払分の給付補てん金等のうち内国法人に係るものについて記載してください。
---	--	---

納期等の区分 給付補てん金等を支払った年月を記載してください。	納期等の区分 平成 年 月
--	------------------------------------

非課税支払分	課税支払分(合計)	内国法人に対する支払分
----------------------	-------------------------	---------------------------

本 税	延滞税	合計額
-------------------	-------------------	-------------------

徴収義務者 貸殿(社)の住所(所在地)及び氏名(名称)を記載してください。	あて先
--	-------------------

合計額 金額を書き誤ったときは新しい納付書に書き直してください。

納付について

- 税金は、給付補てん金等を支払った月の翌月10日までに最寄りの金融機関又は所轄の税務署の窓口で忘れずに納付してください。
- 納期限までに納付されない場合には、延滞税や不納付加算税などを負担しなければならないことがあります。
- この納付書は、3枚1組の複写式になっていますから、切り離さずに納付場所に提出してください。

◎ 記載事項についてお分かりにならない点などがありましたら、最寄りの税務署にお尋ねください。